

学校番号	学 校 名
3 6 0 6	加茂高校定時制

学校教育目標	「基礎学力」と「バランスの取れた人間性」を備え、「社会に出て自立して生きていける人間」を育成する。 1 目的に向かって精一杯努力し、チャレンジする生徒 2 多文化共生社会の一員として適応できる、自律心と協調性を備えた生徒 3 集団をよりよい方向へ導く調整力や発信力を備え、進路を切り開く力を身に付けた生徒	
< 教育指導の重点 > 今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 授業規律の確立と基礎学力の習得と定着	①少人数授業、ティームティーチング授業を実施して、丁寧に学び直し授業を行います。 ②総合的な探究の時間を活用し、漢字・日本語能力や計算能力を定着させます。 ③外国人児童生徒適応指導員の支援を活用し、言語面から学力向上を支援します。 ④週2回、職員間の情報共有の機会を設け、指導内容や指導方法を常に見直します。	① 授業アンケートや職員研修を通して、改善点を確認し、指導方法を研究する。 ② 校内漢字検定や数学基礎テストを実施し、達成度を確認する。
2 基本的な生活習慣の確立とバランスの取れた人間性の育成	①基本的な生活習慣を確立するため、ルールやマナーに関する生徒指導を全職員で行います。 ②心身の健康管理を自ら適切に行うことができるよう、普段は保健体育の授業で、また夏季休業前には外部機関との連携による保健指導を行います。 ③個人懇談と保護者懇談を年間計6回実施し、生徒理解に努めます。 ④月1回、希望者に対して専門機関によるスクールカウンセリングを実施し、専門医や養護教諭との連携を図り、教育相談面での支援体制を充実させます。 ⑤学校行事や部活動を通して、協調性や公共心を育成します。	①自立した社会人を目指すために、TPOを考えた行動を指導する。 ②校門指導を行い、遅刻の防止、交通マナー、挨拶の指導をする。 ③個人懇談、保護者懇談、専門医との懇談を実施し、生徒理解に努める。 ④行事ごとにアンケートを実施する。
3 社会に適応できる能力の計画的な育成と進路希望の実現	①生徒が自己の適性を見極め、適切な進路実現を達成できるよう、各学年の意識段階に合わせたキャリア教育を実施します。 ②健全な職業観を育成するため、外部機関と連携した進路ガイダンス、企業訪問、卒業生や進路決定者から下級生への助言等を通して、情報収集の機会を充実させます。 ③グループ対抗の校内日本語プレゼンテーション大会を実施し、調整力や発信力を養います。 ④外国籍生徒の日本語検定合格を支援し、検定や資格の取得を進学や就職に生かします。	①進路意識調査の結果を分析し、キャリア教育の全体計画を作成する。 ②企業訪問、進路ガイダンス等、進路について考える機会を充実させ勤労意識を育成する。 ③校内日本語プレゼンテーション大会や検定取得を通して、社会に必要な能力を高める。
4 地域社会に開かれ、信頼される学校づくりの推進	①保護者との連携を強化するために、振興会総会や保護者懇談会の実施に加えて、多言語での携帯メール配信やホームページ掲載、年3回の加茂高だよりの発行で情報を発信します。 ②外国人児童生徒適応指導員による支援を活用し、外国籍生徒の保護者との連携を密にします。 ③校内日本語プレゼンテーション大会において地域の方々に学校を知ってもらい、本校教育活動の理解につなげます。 ④本校の教育活動をPRするために、ホームページや高校説明会の充実を図ります。 ⑤本校の職員は、積極的な職員間連携を通して、職務の効率化を図ります。	①年間行事計画を多言語でホームページに掲載する。 ②保護者宛文書やメール配信を多言語で行う。 ③学校公開日、振興会総会、学校説明会の参加者を増やす。 ④職員の月残業時間を45時間以内にする。